

各地からの便り

士別市へ素材の採材等の技術支援

【上川北部署】

当署管内にある士別市では、平成29年度から天然林を含む市有林の立木販売を実施しています。天然林には広葉樹の大径木が多く点在し、ナラ、マカバなどの優良木については一部に素材生産等の請負契約を行い、販売しています。

士別市から当署に、「立木の売却についてアドバイスが欲しい。」との依頼がありました。優良木は銘木市に出品すると通常より有利な販売が出来ることを提案し、採材等の協力を行いました。今年の3月下旬に開催された



マカバ優良木の直径を計測

旭川銘木市へ約80立方メートルを出材しました。前年度は約72立方メートル出材し、士別市の収入確保に貢献したところです。

今後は、このような取組を、管内の各市町村と開催する林政連絡会議等を通じて幅広く紹介するなど情報提供を行い、地元自治体・民有林への支援の拡大につなげて行きたいと考えています。

局長が本局勤務の若手職員と懇談

【北海道森林管理局】

3月19日（木）局長、次長、総務企画部長、調査官、総務課長と平成31年度に入庁した本局勤務の高卒程度の若手職員9名との間で懇談会を開催しました。若手職員は4月期の人事異動で道内の各署、森林事務所配属になります。

局長からは「山と相談して森をつくる」「行政官として色々な意見を聞いて調整する」など現場勤務での心構えや食生活など生活面でのアドバイスをしました。

次長からは「良いときも悪いときもある、相談すること、ときには我慢することも必要」。総務企画部長からはその土地の食や風

景、歴史などに触れ楽しむこと、総務課長からは地域の人の関わり大切さなどの話がありました。

若手職員からは「ドローンを活用して、色々なことに挑戦してみたい」といった意気込みのほか、「森林事務所ではどのようなことを意識して仕事をすべきか」との質問がありました。

局長から「森林事務所は地域の窓口、いつでも対応できるようにするのが大切」と激励しました。

今回の懇談は、若手職員が新たな職場で安心して業務に取り組む、国民や地域の人からの求めに答えていけるように企画しました。

フレッシュマンの今後の活躍が楽しみです。



懇談の様子

今月の表紙

エゾヤマザクラは花と葉と一緒に出て、ソメイヨシノは花が先に咲くことが知られています。

けれども、どちらも花芽と葉芽を別々に持っています。

葉の開く時期の違いで、印象がずいぶん違います。

もり
広報 「北の森林 国有林」4月号
発行 北海道森林管理局
編集 総務企画部 企画課
〒064-8537 札幌市中央区宮の森
3条7丁目70番
I P 電話 050-3160-6300
電 話 011-622-5213
F A X 011-622-5194

<https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>